

設置運営を行う駐車場事業及び維持管理事業は周辺環境に配慮し適正に維持管理を実施。

① 駐車場

- ・ 駐車場として、精算機・駐車場設備を導入し、時間貸し駐車場運営を実施継続中。
- ・ 2022年は2021年と比較して9月10月は30%程度出庫件数が下がっているが、11月12月はプラスに転じており、ひと月あたり約700回の出庫件数となっている。

【事業概要】

- ・ 営業時間：24時間365日稼働（メンテナンス等以外は年中無休）
- ・ 駐車場台数：7台
- ・ 2021年11月17日より日祝の最大料金を800円から1200円へ変更。

【委託事業者】

- ・ ショウワ電技研（株）

② 維持管理事業

- ・ 「本町橋BASE」にぎわい創出拠点・管理運営事業に係る維持管理等に関する協定（案）に基づき、公園と水面を快適に維持管理する日常管理を実施。
- ・ 日常管理の一環として、18頁に記載の地域と連携した清掃活動を実施し、単なる維持管理のための清掃ではなく、清掃を通して地域住民らとのコミュニケーションの機会を創出している。



I. 事業の実施状況 7. 地域連携事業 ①主催イベント

地域と連携したまち・人・水辺をつなぐ主催イベント

- ・東横堀川水辺再生協議会など地域関係団体や東横堀川界隈の店舗・事業者・アーティストと連携し、まち・人・水辺をつなぐ地域連携イベントを春と秋の季節の良い時期に開催。
- ・地域の方や関係者など広く参加いただけるオープンなプログラムを開催し、まち・人・水辺につながるきっかけづくりを行った。
- ・β本町橋での事業や取り組みを地域や社会に知っていただく機会として1周年記念イベント時にβ本町橋の想いや利用者からの声、1年間の歩みを振り返る写真などを展示した。

東横堀川 川びらき

- ・イベントが始まる前に、地域の方と一緒に公園と、予約者はサップに乗って水上のお掃除を行った。
- ・少彦神社宮司・斎主に来ていただいて川の安全祈願のお祓いを行ってもらった。
- ・キッチンパートナーや地域の方による屋台出店や地域の方の落語寄席、ジャズ演奏会に大学連携をした学生の発表など、地域やβ本町橋の面白さを体感できる機会となった。

【実施時期】 2022年3月21日10:00～16:00
※今年度は2023年3月21日に開催予定

【出店組数】 屋台出店：10組
ワークショップ：2つ
発表（演奏・落語）：2組



安全祈願の神事



大学生のプロジェクト発表



たくさんの人で賑わう様子

東横堀川オータムフェス（水上運動会）

- ・水辺の運動会をメインテーマに、食・文化・アートなどの秋らしさを満喫できるイベントとして行った。
- ・水上ではサップによる運動会、公園では子どもたちのかけっこ競走などを行った。
- ・館内シタは屋台出店や休憩スペースとし、ウエは地域の方によるワークショップを行った。

【実施時期】 2022年10月22日



I. 事業の実施状況 7. 地域連携事業 ②地域イベントへの参加

近隣地域の人気イベントに水辺の拠点として参加

- ・船場エリアや大阪市内で開催されている人気のイベントに、β本町橋もプログラムを開催して参加。
- ・地域の方や関係者はもちろん、各イベントのファンの方や普段β本町橋に来られない方など新たな層へもβ本町橋を知っていただく機会となった。

船場博覧会

- ・7日間にわたって開催される船場博覧会の1プログラムとして、東横堀川水辺再生協議会主催でワークショップを開催。
- ・β本町橋のウエ・ラボで和菓子作りワークショップを行った。

【実施時期】2022年11月23日

【実施内容】・菊壽堂義信17代目店主 久保氏に学ぶ、お茶菓子作りワークショップの開催
・予約制で定員を超える24名の開催となった。

【連携】船場博覧会実行委員会



生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 “イケフェス大阪”

- ・毎年秋の週末に大阪の魅力ある建築を一斉に無料公開する日本最大級の建築イベントに参加。
- ・建築としては「ウッドデザイン賞2022」を受賞しており、建物が魅力的であることはもちろんのこと、大阪の都市の魅力を語るべく、β本町橋ならではの展示を行った。

【実施時期】2022年10月29日・30日

※β本町橋での実施は10月30日のみ

- 【実施内容】・設計者や運営者が在館し、直接話が聞ける時間を確保
・本町橋の図面やβ本町橋付近の江戸時代から現在に至るまでの古地図や写真を展示
・β本町橋の折り紙で立体的に作るワークショップ



事業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主催イベント			川びらき ◎							オータムフェス ◎		
地域イベント参加										イケフェス大阪 ◎	船場博覧会 ◎	

- 次年度の方針
- ・地域と連携した主催イベントは春・秋に定期開催していき、地域の方への定着を図る。
 - ・地域イベントへの参加も積極的に行い、比較的広い範囲での地域とも交流を図りつつ、β本町橋の活用を広げる。

I. 事業の実施状況 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益事業）①学校連携

水辺・まち・人の可能性を育てるエンジンとしての事業活動

- ・β本町橋は、①調査や研究を通して調べ、②まちづくりやエリアマネジメントについて考える、③多様な主体とともにまちの課題解決や新たな価値の創造に向けてやってみること、④①～③を通じて得た知見や水辺・まち・人の魅力を伝えることサイクルのもと、公益的な事業として水辺ラボ事業を展開している。

学校連携プロジェクト

- ・β本町橋だけでなく河川や公園をフィールドに、学校と連携したプロジェクトに協力した。
- ・学生の「やってみたい」気持ちを応援し、備品の貸出や場所の提供、行政等との調整など実現までのサポートを行い、学生主体のプロジェクトを実施することができた。



連携先	内容
近畿大学経営学部布施ゼミ	・β本町橋を盛り上げることをテーマに行なった学内ビジネスコンテストにおいてβ本町橋賞を受賞したチームが、コロナ禍において発表や活動の機会が失われた学生による学生のための学園祭“FestieBLUE”を開催した。 ・2022年9月24日～25日の2日間実施し、β本町橋館内ではアートの展示や古着販売、飲食屋台出店を行い、公園ではバンド演奏を行った。
大阪ECO動物海洋専門学校	・学生たちによる公園のゴミの調査やゴミを捨てないようにするための取り組みとして、β本町橋周りのゴミを拾い、そのゴミを使ったアートボードを制作し、β本町橋に掲示・啓発を行った。 ・ゴミを捨てない啓発として公園にポスターを掲示できるよう、公園課と調整中。
大阪成蹊大学芸術学部 造形芸術学科 バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース	・β本町橋のプロモーションをテーマに、学生たちが企画から撮影・編集までを動画をいくつか制作した。 ・β本町橋に関連する取材をし、働く方々へのインタビューと仕事の一部を体験する動画を制作。架空のwebサイトでの紹介記事にまとめ発表した。 ・β本町橋を舞台にした1分未満の短編映画(ドラマCM)を制作。15作品のうち選ばれた3作品の撮影を12/10に行った。東映の役者さんも出演。 ・βのロゴを使ったムービーを制作。作ったムービーは短編映画にも活用された。
阪南大学国際観光学部 長谷川ゼミ	・β本町橋に訪れる利用者の客層やニーズを掴み、今後の水都大阪の活動に利用できるようアンケート調査を行った。



近畿大学の学生チームが作ったポスターと当日の演奏の様子



ゴミ拾いをする大阪ECO動物海洋専門学校の生徒のみなさんと拾ったゴミで作ったアート看板



ドラマCM撮影中の成蹊大学のみなさん

I. 事業の実施状況 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益事業）②子ども

A. βタウンエディターズ

- ・地域の小学生や保護者とともに、子どもたちが主役のプロジェクトとして“βタウンエディターズ”をスタートした。
- ・子どもたちが行ってみたい地域のお店やスポットなどに取材を申し込み、自ら取材。壁新聞に取材成果をまとめて魅力を伝える活動を行っている。

【活動状況】

2022年

2月18日 質問項目の検討

3月6日 ■渋谷利兵衛商店（高麗橋1丁目）の取材

4月23日 ■山本能楽堂（徳井町一丁目）の取材

5月27日 取材先の検討

6月30日 質問項目の検討

7月17日 ■丸一商店（瓦町一丁目）

7月21日 取材先の検討

8月11日 丸一商店取材のまとめ

8月18日 ■サカグチワークス（平野町一丁目）

9月15日 質問項目の検討

10月15日 ■ローソン平野町二丁目店（平野町二丁目）

10月20日 コンビニ取材のまとめ

11月17日 取材先の検討

12月15日 質問項目の検討

2023年

1月15日 取材用の名刺づくり



βタウンエディターズの活動の様子



B. アキナイキッズ（子ども商店街）

- ・地域の小学生の保護者主催で子どものための「商いイベント」としてβ本町橋を借りて開催されている。
- ・2021年に1回、2022年に2回β本町橋で開催されており、企業協賛やボランティアを募りながらお母さんたちの努力で作り上げられており、公益的なイベントとしてβ本町橋はレンタルスペースのサポートを行っている。

【開催状況】

2022/5/29：第2回実施

- ・会場の飾り付け用にガーランドなどを子どもたちが作成するなど準備から子どもたちが行うことで、愛着のあるイベントになった。
- ・β本町橋は当日の会場の雰囲気づくりのため、プロの演奏者と調整し、演奏タイムを設けた。

2022/11/29：第3回実施

- ・これまでのように出店だけでなく、ダンスや演奏の発表者が増えた。
- ・当日のアナウンスを子どもたちが行えるよう、（一社）水辺ラボのスタッフによるアナウンス講座を事前に行い練習した。



当日は子どもたちが店主としてお店を開く



アナウンスの練習風景

C. まちと子どもの大人会議

- ・“βタウンエディターズ”や“アキナイキッズ”など子どもに関するプロジェクトが増えてきていることから、今後の子どもの居場所を考えるために、それぞれのプロジェクトの大人のコアメンバーを中心に会議を行った。

【活動状況】2022/2/10：第1回開催

■次年度の方針

- ・これまでの活動のノウハウとネットワークを活かし、川の両側の学区の保護者と連携して、子どもがまちとつながって活動できる場を広げていく。

I. 事業の実施状況 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益事業）③学び

A. 学び・レクチャー

- ・β本町橋の取り組みや水都大阪にまつわる歴史や人々の活動について、β本町橋内外でレクチャーを行った。
- ・日本旅行がとりまとめる修学旅行においては、クルーズをしながらサステナブルな水都大阪を、高校生にわかりやすくレクチャーした。
- ・近隣の小学校である追手門小学校の小学3年生4クラスの生徒たちへは、サップの体験と合わせてレクチャーを行った。

日付	連携先	内容
2022年10月31日	(株)日本旅行	サステナブルクルーズ 福島県立保原高等学校
2022年11月28日	追手門小学校PTA	まちづくりの歴史のレクチャー・水上体験
2022年12月15日	(株)日本旅行	サステナブルクルーズ 茨城県立日立第一高等学校
2023年3月10日	(株)日本旅行	サステナブルクルーズ 熊本県立玉名高等学校



サステナブルクルーズでは、水上バスさんの協力のもと大阪の河川の水を組み、その水質を生徒のみなさんに知ってもらう取り組みを行っている



追手門小学校の社会見学では、まちづくりの歴史のレクチャーと水上体験を実施。

B. 視察受け入れ

- ・自治体や企業、大学からの視察を受け入れた。
- ・視察に関しては1人あたり3300円の視察料をいただいているが、学生向けのアカデミックプランとして視察を受けた上でのレポート（感想程度でも可）を提出すれば視察料が無料としており、今年度初めてレポートが提出された。

日付	分類	視察者
2022年4月13日	自治体関連	大阪市河川課
2022年4月18日	大学	関西大学建築学科の学生さん
2022年6月24日	企業	三菱地所
2022年6月29日	自治体関連	一般財団法人たらぎまちづくり推進機構(多良木町地域おこし協力隊)矢ヶ井さん
2022年9月13日	企業	AJEP 寺田倉庫 海口さん
2022年9月22日	大学	山口大学 蔵重さん
2022年11月10日	企業	中之島まちみらい協議会
2023年2月27日	自治体関連	東京都建設局河川部計画課 岡本さん



山口大学の学生さんより提出されたレポート

I. 事業の実施状況 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益事業）④清掃活動

地域と連携したお掃除プロジェクト

- ・β本町橋の位置する公園の公園愛護会である東横堀川水辺再生協議会や本町橋100年会、界隈の店舗・事業者、地域住民らと連携し、β本町橋や東横堀川界隈の清掃活動を行い、地域との協働による美化・清掃活動を実施。
- ・清掃活動の後は、β本町橋リビングにてお茶を飲みながら「最近あった嬉しかったこと」「最近驚いたこと」などを話しながら交流・コミュニケーションを大切に活動を展開。
- ・最近では近隣住民だけでなく岡山などの遠方から参加される方もいる。

【実施時期】

毎週日曜 AM10~AM11
毎月14日 AM8:30~

【連携先】

東横堀川水辺再生協議会
本町橋100年会
東横堀川界隈の店舗・事業者
地域住民・遠方住民



日付	内容	参加人数(人)	備考
4月3日		3	
4月10日		5	
4月14日	定期清掃	8	
4月17日		3	
5月15日		3	
5月22日	βイチ	9	
5月29日		6	船場倶楽部さん参加
6月4日	大手橋清掃	25	中大江小バスケチーム多数参加
6月12日		5	梅仕事ワークショップも兼ねる
6月19日		7	梅仕事ワークショップも兼ねる
6月19日		9	β本町橋レンタルイベントの方も参加
6月24日	臨時清掃	11	水門工事の人も参加
6月26日	βイチ	5	ひまわりの支柱立て
7月3日		5	
7月10日		4	
7月14日	定期清掃	11	雨予報で中止も水門工事の方が参加
7月24日	βイチ	3	
8月7日		3	
8月14日		3	
8月28日	周年祭	20	
9月11日		6	
9月14日	定期清掃	9	
9月18日		13	ひまわりの根とり
9月25日		6	倉庫の落書き消し
10月2日		6	
10月9日		4	
10月14日	定期清掃	8	
10月16日		5	倉庫のペンキ塗り
10月23日	本町橋橋洗い	24	100年会主催に参加
10月30日		7	ちびっこも
11月6日		11	きんせんかの花植え
11月14日	定期清掃	11	水門工事の人も参加
11月27日		7	花植え・政岡さん参加
12月4日		4	
12月14日	定期清掃	15	水門工事の人も
12月18日	2022最後の清掃	7	楠、柳の伐採
1月8日	2023最初の清掃	6	
1月13日	定期清掃	7	水門さん
1月15日		2	
1月22日		4	政岡さん参加
1月29日	水環境プロジェクト	5	
2月5日		1	
2月12日		5	政岡さん参加
2月14日	定期清掃	9	
延べ人数		330	

I. 事業の実施状況 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益事業）⑤交流

交流事業

- ・β本町橋を多くの人に知ってもらうため、もしくはβ本町橋のスタッフやシェアオフィスメンバーによる「やってみたい」を実現するための交流事業として多様なプログラムを開催した。
- ・夜のβ本町橋の楽しみ方として、講座形式やトークイベントを行う“ヨルベータ”や、スタッフとコミュニケーションをとれる“スナックβ”を開催している。
- ・（一社）水辺ラボスタッフが話し手となって定期開催している“ウイスキーナイト”は4月から毎月1回必ず開催し、回を重ねるごとに参加者も増えて定番プログラムとなった。

日付	プログラム名	参加人数
2022年4月16日	Boat side market(フリーマーケット)	6組
2022年4月29日～5月8日	GW week (軒下でミニ焚き火によるマシュマロ、ソーセージ、うずらの卵のグリル体験) ★5/1 GW event	約320人
2022年5月18日	ヨルベータ:中医学よもやま話#1	4人
2022年5月20日	ヨルベータ:金曜インタビューBAR #1	9人
2022年5月21日	Boat side market(フリーマーケット)	6組
2022年6月12日・19日	季節の手仕事 梅シロップワークショップ	12人
2022年6月23日	ヨルベータ:金曜インタビューBAR #2	11人
2022年6月29日	ヨルベータ:中医学よもやま話#2	4人
2022年7月22日	ヨルベータ:金曜インタビューBAR #3	10人
2022年8月28日	1st Anniversary Fes (1周年のお祝いと地域の方々に向けて感謝の気持ちを込めて水上・陸上ともにプログラムを充実させて開催)	約220人
2022年9月9日	防災訓練 (水難救助の浮き輪投げや・非常食の炊き出しなどワークショップ形式の防災訓練を実施)	8人
2022年12月16日	スナックβ	4人
2022年12月25日	クリスマススペシャルジャズライブ	約20人
2023年1月20日	スナックβ	4人
2023年2月17日	スナックβ	10人

ウイスキーナイト実施状況

- #3 スコッチウイスキー「ハイランド」(4/7)
- #4 スコッチウイスキー「アイラ」(4/28)
- #5 スコッチウイスキー「スペイサイド」(5/26)
- #6 スコッチウイスキー「アイランズ」(6/24)
- #7 単一蒸溜所「グレンモーレンジ蒸溜所」(7/29)
- #8 単一蒸溜所「タリスカー蒸溜所」(8/26)
- #9 単一蒸溜所「アードベック蒸溜所」(9/30)
- #10 ボトラーズ「ダグラスレイン社」(10/28)
- #11 アメリカンウイスキー「バーボンウイスキー」(11/26)
- #12 アメリカンウイスキー「アメリカンウイスキー」(12/26)
- #13 アメリカンウイスキー「アメリカンウイスキー」(1/27)
- #14 アイリッシュウイスキー(2/24)



出店者や購入者と交流できるフリーマーケット



体験型の防災訓練



β本町橋のBOOKSHOPの本屋さんにインタビュー



1周年イベントでのトークイベント

■次年度の方針 ・水辺の拠点として地域の方から観光客まで気軽にコミュニケーションがとれるプログラムの実施を継続する。

I. 事業の実施状況 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業（公益事業）⑥まちづくり

A. 東横堀川調査・社会実験への協力

- ・昨年度に引き続き水都大阪コンソーシアムによる「東横堀川における水都大阪の新たなシンボル空間創出調査研究」における東横堀川利活用のアイデア公募「東横堀川ING」に応募し、2つのプログラムを実施した。
- ・東横堀川の水上・水辺の新たな可能性・新たな魅力づくりのため、東横堀川INGのその他の応募プログラムへの備品支援、調査研究及びそれらの意見交換会などへの会場を提供し、水辺での活動の輪の広がりにも貢献した。

応募A. 水上キャンプ～食う×寝る×巡る～

【実施時期】

- ・10月28日夜～29日朝にかけての1泊

【実施内容】

- ・昨年実施した水上キャンプ生活をプログラムとして実現するためのモニタリングとして実施。
- ・子ども連れを含めたモニター3組による1泊の水上キャンプを行い、船の往来のない早朝にはサポートや水上自転車での水上さんぽを楽しめた。



水上に3基テントが浮かぶ



テント前のスペースでは食事もしめる

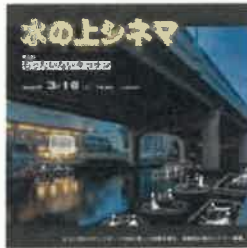
応募B. 水の上シネマ

【実施時期】

- ・11月23日（雨天のため延期）
- ・3月18日実施予定

【実施内容】

- ・β本町橋の壁面に大型スクリーンを設置し、水上のサポートや船を客席として映画を鑑賞する。
- ・観客は水上にたゆたうことで単なる映画鑑賞ではなく体験を楽しみ、航行しない水上の新しい活用の仕方を探る。



水上からの鑑賞リハーサル風景

備品・会場提供のプログラム



焚き火台やイスを貸し出したスウェーデントーチ



苗を育てる場所を提供しているエディブルパーク



焚き火台などを使用するプレーパーク



水質調査プロジェクト



地域の方も一緒に検討するオープンミーティング

B. 官民連携まちなか再生推進事業の立ち上げ

- ・大阪市と連携し、東横堀川の水辺のまちづくりを検討するエリアプラットフォーム立ち上げ準備を行っている。2023年度より本格始動。β本町橋のネットワークやノウハウを活かし、行政・民間・市民をつなぐコーディネーターとして事務局を務める。
- ・国土交通省の官民連携まちなか再生事業に応募し、事例調査や沿川の意向調査、社会実験などを行いながら、これからの東横堀川のあり方を官民連携で検討していく。

■次年度の方針

- ・地域はもちろん、東横堀川で活動したい人の輪を広げられる場、実験できる場所としての機能を果たしながら、東横堀川のまちづくり拠点としての機能を強化する。

I. 事業の実施状況 9. 広報活動

- Webサイト・Instagram・Facebook・Twitterを運用し、月間スケジュールを記載した“β通信”を町会の回覧板で回覧してもらうなど、多様な属性に向けて多様なメディアを活用して情報を発信中。

フォロワー数（2/9時点）
 Instagram： 2,189人
 Facebook： 679人
 Twitter： 114人

メディア掲載

32件掲載

（テレビ9件、WEB記事7件、新聞5件、広報誌3件、フリーペーパー・雑誌2件、youtube・ラジオ・SNS・Podcast 1件）



関西テレビ ちっちゃ入れマンデー



フリーペーパー：アルキメトロ



地域に根ざした発展を力め、未来をつくる！ 街の魅力を伝えよう
 に通じる道の本（奈良町・MIMO道）
 WEB記事：奈良の木のこ



地域と連携したβ通信配布

4月から毎月1回 約200部発行

中大江西連合町会・東横堀川水辺再生協議会など、地域のご協力を得て、回覧板や掲示版、まちのスポットなどで掲示・配布。



日付	メディア	内容・タイトル
2022年4月8日	ラジオ	FM COCOLO 尾上さとの「Hitsville 765」
2022年4月26日	テレビ	関西テレビ 「ちっちゃ入れマンデー」 水上ピクニック
2022年4月29日	テレビ	関西テレビ 「よ〜いドン！」 水上ピクニック
2022年6月4日	新聞	日経新聞 水都・大阪 オシャレに変身
2022年6月28日	新聞	日経新聞 夕刊「KANSAI Timeline きらり感彩人」
2022年6月	フリーペーパー	大阪メトロ アルキメトロ夏号
2022年7月7日	WEB記事	奈良県 「奈良の木のこ」
2022年7月29日	WEB記事	TimeOut東京 Things to do
2022年7月	雑誌	SAVVY 「大阪、京都、神戸で楽しむ韓国」 ランチ紹介
2022年8月1日、8日	テレビ	J:COM 「角田信朗のおっさんぽ」 1人乗りサップ教室
2022年8月5日	テレビ	J:COM 「デイリーニュース」 水上自転車体験
2022年8月8日	WEB記事	ホンダWEBサイト 「Real Connection」 水上さんぽ
2022年8月12日	WEB記事	TimeOut東京 大阪、家族で行きたいスポット14選
2022年8月16日	フリーペーパー	SUUMO 本町橋界隈特集
2022年8月25日	SNS	京阪エージェンシー 天満橋はちけんや部
2022年9月13日、27日	youtube	ジャニーズJr.チャンネル リトル関西が水上ピクニックとサップヨガ
2022年9月	広報誌	近畿ろうきん 会員情報誌「ずっと。」 「シニア通信」
2022年10月28日	テレビ	MBS毎日放送 「よんちゃんTV」 クーポン散歩コーナーで水上ピクニック
2022年10月	広報誌	（一財）都市技術センター 人と地球のういおいマガジンMer 「水人之交」
2022年12月4日	新聞	朝日新聞 「大阪版」 水辺から未来へ人結ぶ架け橋
2022年12月6日	新聞	朝日新聞デジタル 水辺から未来を変える 川沿いにできた「新しい公共空間」とは
2022年12月22日	テレビ	テレビ大阪 「やさしいニュース」 ガイドツアー道頓堀コース
2022年12月23日	Podcast	Good News for Cities 〔#96〕 都心の水辺で「遊ぶ」「学ぶ」「働く」/ 大阪の水辺活用を推進するコミュニティスペースβ本町橋の仕掛け人にインタビュー
2022年12月	広報誌	日本建築協会 「建築と社会」
2022年12月	WEB記事	大阪公式観光情報サイト OSAKA-INFO ガイドツアー道頓堀コース
2022年12月	WEB記事	TimeOut東京 ガイドツアー道頓堀コースと水上こたつピクニック
2022年12月	WEB記事	阪急阪神HD インバウンド向けメディア「日案座」 水上こたつピクニック
2023年1月12日	テレビ	フジテレビ 「めざましテレビ」 水上こたつピクニック
2023年1月22日	テレビ	日本テレビ 「シューイチ」 水上ピクニック
2023年1月24日	テレビ	NHK 生中継「ニュースLIVE! ゆう5時」 ガイドツアー道頓堀コース
2023年1月	新聞	共同通信社加盟の新聞社 「英語子ども新聞」 水上こたつピクニック
2023年1月	雑誌	商店建築 大特集「小さな複合施設」にβ本町橋

■次年度の方針 ・これまでの取り組みを継続しながら、クラウドファンディングを活用した取り組みも展開して広く発信する。

■次年度スケジュール

事業	備考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.水辺・まち・人をつなぐキオスク	①キオスク・カフェ運営:通年	常時カフェ運営にリニューアル											
	②屋外を活かした食イベント: 4月～10月												
2.やりたいを実現するレンタルスペース	通年												
3.暮らしをアップデートするイチバ事業	①野菜販売:通年												
	②βイチ:月1回												
4. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業	①保管係留:通年												
	②人力船事業												
	③舟運事業												
5. 駐車場事業	通年												
6. 維持管理事業	通年												
7. 地域連携事業	②地域連携イベント	eよこ道通・アニバーサリー オートムフェス 船場博覧会 春の川びらき											
8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業	①学校連携:通年												
	②子ども:通年												
	③学び(視察対応、講演):通年												
	④地域と連携した清掃活動:毎週日曜、毎月14日												
	⑤交流:月1回～適宜開催	周年イベント											
	⑥官民連携:適宜協力・実施	東横堀川水門工事による閉鎖 本町橋～農人橋護岸改修工事 社会実験協力											
9. 広報	β通信・HP・SNS等:通年												

Ⅱ. まとめ 1. 全体の利用状況

- ・ 2022年4月～2023年1月の施設利用者数及び公園利用者数（推計）を合わせた利用状況は、10ヶ月間で33,196人の利用。
- ・ 季節の良い春の5月や秋の11月の利用が多くなっており、寒さの厳しい冬季は利用が減る。

		2022年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	合計（人）
施設	来館者	1,992	2,338	1,944	1,766	1,722	1,642	1,920	1,720	1,362	1,090	17,496
	全館イベント	0	600	230	520	0	120	400	700	150	0	2,720
	水辺ラボ事業	49	28	82	43	36	44	74	39	36	34	465
	レンタルルーム利用	85	154	139	239	77	145	236	160	185	90	1,510
	SUP	64	213	107	131	185	79	135	240	236	183	1,573
	クルーズ	121	26	20	30	25	10			20		252
公園	公園利用者	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	9,180
月別合計		3,211	4,289	3,422	3,659	2,975	2,940	3,695	3,759	2,919	2,327	33,196

※来館者は、キオスクのレジ通過人数×2で算出

※レンタルルーム利用は、ラボ1予約×10名（大規模イベントの際は20名）、ルーム1予約×5名、ポートルーム1予約×12名として算出

※公園利用は、東横堀川緑道の利用を一日あたり30名とした推計値



Ⅱ. まとめ 2. 事業効果（成果と課題）について

<維持管理事業>

安心・安全な公園・水辺の維持管理を実現。運営に向けて仕組み・体制づくりが課題。

- ・ 維持管理協定(案)に基づき、事故やクレームもなく、安心・安全な公園と水面の維持管理を実施した。
- ・ 新型コロナウイルス流行の収まりとともに、屋外を使ったイベントの問い合わせが増えている。β本町橋として設置施設以外の運営をする位置付けがないものの、水辺の利活用促進に貢献するため、公園・河川の許認可申請に関わるアドバイスや運営のサポートを行った。多様な主体による水辺の賑わいづくりに向けて、継続的な運営の仕組みや体制づくりが課題。

<収益事業>

コロナ禍で苦戦しつつもニーズを把握。強みを活かし、観光客など外部からの集客強化を目指す。

- ・ コロナ禍において対策をとりながら賑わい事業を実施し、当初の目標である年間3万人を超えて年間約4万人の方々にご利用いただいた。引き続き地域や近隣の暮らしの魅力アップにつながる事業を展開しつつ、コロナ後の人流や観光客の増加に向けて、国内外からの集客プログラムの充実を図り、PRしていく。
- ・ 屋外での飲食事業を試験的に実施した結果、ニーズの高さと許認可に関わる課題が明らかになった。強みを活かした水辺の賑わいづくりに向けて、課題解決をはかりながら継続的な事業の実現を目指す。
- ・ 川を活かした事業について、来年度実施される各種工事によって大きな影響が予想される。事業継続に向けて関係者の皆さんにご協力をお願いしたい。

<公益事業>

β本町橋があることで新たなコミュニティとまちづくり活動が萌芽。収益事業とのバランスが課題。

- ・ レンタルスペースの空き時間を活用したり、公益目的活動の割引価格を設定するなど、施設の運営を柔軟に行うことで、子どもや学生の活動の場、学びや交流の場、実験の場を提供し、公益的な活動を支援することができた。
- ・ β本町橋のネットワークやノウハウを活かして、東横堀川全体のまちづくりに寄与する活動がスタートできた。
- ・ 今後、収支の改善に取り組む中で、収益事業とのバランスが課題となっている。